

常陸太田市教育委員会定例会（12月）会議録

- 1 日 時 平成27年12月25日（金）午後4時18分
- 2 場 所 市民交流センター 多目的室
- 3 出席委員 委員長 小林 憲男
委員長職務代理者 本多 技研
委員 佐川 美都里
委員 大金 隆子
教育長 中原 一博
- 4 欠席委員 なし
- 5 事務局職員 教育次長 菊池 武
教育総務課長 江尻 伸彦
指導室長 西連寺 有
生涯学習課長兼生涯学習センター館長 佐藤 芳孝
文化課長 大畠 敬一
スポーツ振興課長 根本康弘
図書館長 金澤 栄
学校給食センター所長 沼田 章
- 6 会議録署名委員 佐川 美都里 委員
- 7 議 案
議案第43号 常陸太田市就学援助実施要綱の制定について
議案第44号 常陸太田市各種競技対外試合等参加助成金交付要項の一部改正について
議案第45号 常陸太田市文化財保護審議会委員の委嘱について
- 8 その他
(1) 平成27年度第4回市議会定例会（12月定例会）一般質問要旨及び答弁要旨について
(2) 里美地区認定こども園の概要について
(3) 平成28年成人式について
- 9 閉 会 （午後5時06分）

委員長	<p>午後4時18分、ただ今から教育委員会12月定例会を開会する。</p> <p>出席委員は全員出席。事務局職員も全員出席。会議録署名委員は大金委員にお願いする。本日は2件の議案がある。まず、議案第43号「常陸太田市就学援助実施要綱の制定について」事務局から説明を願う。</p>
教育次長	<p>それでは、資料1ページをご覧ください。</p> <p>「常陸太田市就学援助実施要綱の制定について」であります。提案理由といたしまして、経済的理由によって就学が困難な児童又は生徒の保護者に対し、就学援助を行うことにより、義務教育が円滑にできるよう、本要綱を制定するものであります。2ページから4ページにかけまして、要綱を記載してございます。第2条に就学援助の対象者ということで、市内の小学校又は中学校に在学する児童及び生徒の保護者で、次の各号のいずれかに該当する者としております。1号に生活保護法に規定する要保護者、2号には次のいずれかに該当し、かつ、教育委員会が認めた者ということで(ア)から(ク)までの8項目を掲げております。また、第3条では就学援助の種類ということで、学用品費をはじめ13項目を記載しております。</p> <p>4ページになりますが、附則の1項に施行期日があります。この告示は、平成28年4月1日から施行するとしております。</p> <p>5ページから10ページにかけては、本要綱に係る様式でございます。もどりますが、第3条に就学援助の種類がありますが、(10)から(13)にかけての4項目が新たに設定した就学援助の種類となっております。これまで市議会においても、卒業アルバム代の項目追加に関し、その考え方について数回一般質問がありましたが、後にそのた(1)でも触れますが、これについては個人的なものと解し、就学援助の対象項目にはあげてございません。</p>
委員長	<p>ただいまの説明に対して何か質問等ありますか？</p>
委員	<p>異議なし。</p>
委員長	<p>それでは、なければ、議案43号については議決いただいたということといたします。続いて、議案第44号「常陸太田市各種競技対外試合等参加助成金交付要項の一部改正について」議題とします。事務局から説明願います。</p>
教育次長	<p>それでは、資料の11ページになります。議案第44号「常陸太田市各種競技対外試合等参加助成金交付要項の一部改正について」であります。こちらは、県の代表として全国規模のフォーラム等に参加する児童生徒を対象に、大会参加助成金を交付することで、教育の一層の充実を図る</p>

	<p>ためのものです。</p> <p>資料の13ページをご覧ください。本要項の一部改正にあたり新旧対照表を記載してございます。第2条に助成対象者とあります。まず、現行では関東大会又はそれと同等以上の大会に出場する中学校の運動部及び文化部の登録選手と引率者としておりますが、改正案を見ていただきますと、それに加え、全国規模のフォーラム及び会議等に茨城県等の代表として参加する児童生徒ということで助成対象者を膨らませております。第5条の交付申請ですが、フォーラム等に代表として参加を依頼されたことがわかる書類1部を交付申請書に添えることとしております。また、附則になりますが、この要項は、平成28年1月1日から施行するとしております。続きまして、資料の16ページから19ページについては、これらに関する関係様式となっております。</p>
委員長	<p>ただいまの説明に対して何か質問等がありますか？</p>
本多委員	<p>要項名というか表題としては、各種競技対外試合となっております。このたびの改正では、フォーラムや会議に参加する者を追加するとのことであるが、題名と内容が一致していないような見方もされるが、どのような考え方でしょうか？</p>
教育総務課長	<p>もともとの本要項には各種競技対外試合等ということで「等」の標記を加えておりました。今回は、この等を捉えまして、フォーラムや会議を含める考え方とし、要項の全部改正ではなく一部改正という形でまとめたいと考えております。</p>
委員長	<p>様式を見ると、学校長名により市長に申請することになっているようです。他に何か意見等がありますか？</p>
委員	<p>異議なし。</p>
委員長	<p>それでは、なければ、議案44号については議決いただいたということといたします。</p> <p>続いて、議案第45号「常陸太田市文化財保護審議会委員の委嘱について」議題とします。事務局から説明願います。</p>
教育次長	<p>こちらは、常陸太田市文化財保護審議会条例第4条の規定により委嘱するものです。任期は2年間になります。委嘱する者については資料のとおりです。</p>
委員長	<p>何か質疑等ありますか？</p> <p>なければ、議案第45号は議決いただいたということといたします。</p> <p>続いて、7「その他」に移ります。3点ほどありますが、事務局から順に説明願います。</p>

教育次長

その他(1)です。平成27年度第4回市議会定例会(12月定例会)一般質問要旨及び答弁要旨について説明いたします。

資料は20ページから24ページになります。12月市議会においては教育委員会関係で6名の議員から質問がありました。まず最初に、藤田謙二議員ですが、登下校時の安全対策の強化、魅力ある学校づくり、特認校制度の導入についての3点について質問がありました。1点目については、地域子ども安全ボランティアは平成27年11月末現在804名が登録されており、登下校中の横断歩道等での立哨当番や見守り活動をいただいております、場所によっては学校長をはじめ教職員も毎朝一緒に活動しているところもあるということ、子どもを守る110番の家については現在496か所に設置されており、各学校では指定されている家を定期的に訪問し、情報交換や継続的な協力要請を行っており、また、子どもたちにも110番の家の所在地の確認と利用の仕方について指導をしているという内容を答弁しております。

魅力ある学校づくりについては、今年、太田一高が1学級減少したわけではありますが、その後、市としては県立の高等学校との関係はどのような状況であるか?ということで質問があったものと思われまます。これについては、市長、教育長からは機会あるごとに魅力ある高校・特色ある学科の設置について、県教育委員会に強く要望していること、中学生の高校に対する意見を高校へ伝えていること、また、中学校の代表の校長が市内3高等学校の学校評議委員になっているので、子どものニーズに合わせた授業や教育活動を展開すること、特色ある教育活動や進路指導の充実を図ること、また、多様なニーズに対応できる学科の設置、魅力ある部活動等について高校へ要望していること等について、答弁をしております。3点目の特認校制度導入については、制度を導入することでのメリットと課題等について触れながら、本市として現在のところその導入の計画にはないこと、現在行われている学校施設検討協議会において協議案件としながら慎重に検討を進めていきたい旨を答弁しております。

次に川又照雄議員からのエコミュージアム活動の進捗状況、成果、今後の展開について質問があった件ですが、こちらについては、エコミュージアムの活動の手法ということで、地域単位で「わがまち地元学」事業を現在までに22地域で実施しており、地域資源の発見数は計1215となっていること、結果、コミュニティが再生し、さらに特色ある活動が展開され、市内外の交流拡大が図られていることを答弁しております。その中で、活動の具体的な事例として、赤土地域での耕作放棄地を解消したそば畑への転換、持方・上深荻・大菅地域での里山自然地域間交流などの事例をあげ

させていただきました。また、魅力ある学校づくりの中で、学校存続問題としての特認校の考え方についても質問がありましたが、これは藤田議員同様の質問でありまして、内容が同一のものであるということで答弁はしておりません。

続いて平山晶邦議員からですが、学校施設検討協議会の進捗状況と今後のスケジュールについて質問がありました。これについては、協議会委員の構成、これまで2回ほど会議を開催したこと、これまでのところの適正規模・適正配置の基本的な考え方、今後のスケジュールとして12月に第3回会議を開催し、その後も年度内に2回程度会議を実施し、平成28年度には本協議会の考え方に基づいた学校施設整備計画を策定していきたい旨を答弁しております。

続いて深谷渉議員からの質問です。教育行政についてということで、ユネスコに対する認識、その加盟について質問がありました。こちらについては、環境学習や国際理解学習、気候変動などの課題をつないで総合的に取り組み、リーダーシップ、コミュニケーション能力、情報分析能力、思考力や判断力などを育成しているものであるという、ユネスコスクール概念について説明をしたうえで、市内の小中学校では、ESDの考え方に沿った教育を実践していること、ただし、それぞれの教育活動に関連を持たせて実施してはいるものの、ESDという視点からではなく、個々に取り組んでいる状況である旨を答弁しております。今後については、これまで実践してきた学習内容をESDの視点からつなぎ、連鎖的に取り組んでいくことを基準とし、ユネスコスクールの実践について各学校に投げかけていく旨を答弁しました。また、視覚障がい者図書導入については、本市図書館における大活字図書の蔵書冊数は平成27年3月末現在で1,270冊、これまでに発行された大活字図書が4,900冊であり、総出版冊数の26%購入していることになっていますが、今後大活字図書の導入の考え方については、展示や蔵書リストを置くなど、認知度を高めるために積極的にPRしていきたい旨を答弁しております。

次に、益子慎哉議員ですが、今後、児童生徒数の減少により複式学級が予測される学校への対応として、水府地区の小中一貫教育の導入の考えと小規模校への部活動の支援について質問がありました。こちらは、現在行われている学校施設検討協議会においても、統合に際し小中一貫教育の検討を進めていくこと等の意見もいただいており、水府地区において統合の方向性が示された場合には、その点も視野に入れ検討を進めていきたい旨の答弁をしております。部活動については、県市町村教育長協議会や県校長会が中学校体育連盟に対して上位大会まで出場できるよう要望してい

	<p>るところであります。一方、教職員定数の減から専門的指導者の確保が困難となっている学校もありますが、これについては、部活動指導者講習会の研修機会を活用し、指導者の専門性の向上に努めるよう助言している内容を答弁しております。</p> <p>最後になりますが、宇野隆子議員からの質問です。こちらは、子どもの貧困対策ということで、給付型の奨学金制度の創設、経済的支援としてメガネ・コンタクトレンズ購入費、アルバム代を就学援助の対象費目に加えることについて質問があったものです。現在は8品目を対象として援助していますが、来年度より新たにPTA会費なども就学援助の対象とすることで調整していることを答弁しています。また、メガネ、コンタクトレンズ、卒業アルバム代については、個別なものであり対象とすることは考えていないことを答弁しております。</p>
教育総務課長	<p>続いて、(2)里美地区認定こども園の概要についてです。こちらは、これまでも教育委員会定例会において委員の皆様にご案内してきたものであります。このたび12月市議会において、常陸太田市認定こども園の設置管理条例が可決されたことから、地区の保護者の皆さんに「こども園だより」として配布したものです。幼稚園・保育所を通して保護者に配布しました。12月18日に保護者に行き渡っているものです。</p> <p>内容といたしましては、先月の議案でも説明をしたところですが、園名が「さとみこども園」となること、定員や給食等、資料の右側に記載のある各項目について保護者宛てにお示ししたわけであります。</p> <p>これらについては、1月16日(土)に保護者を対象に全体説明会を開催し、ご説明をし、さらに意見交換を執り行ないながら、来年4月の開設に向けて準備を進めていきたいと考えております。</p>
生涯学習課長	<p>続いて、(3)平成28年成人式について説明します。</p> <p>別紙 資料のとおり</p>
委員長	<p>それぞれ以上3項目の報告事項がございましたが、何かご質問等がありますか？なければ、次回の定例会開催日程について、事務局から願います。</p>
教育総務課	<p>次回、教育委員会定例会(1月)日程について</p> <p>日時 1/28(木) 11:00</p> <p>場所 常陸太田市学校給食センター (定例会終了後、市の食育推進施策を知る上で学校給食を食す)</p> <p>閉会 午後5時06分(会議所要時間48分)</p>
